

令和8年度

人間生活学研究科（博士前期課程）

**問題・出題の意図・解答のポイント
小論文（学内推薦）**

令和8年1月10日

高知県立大学大学院

小論文（文化学領域）

問 現代社会においては、急速なデジタル化・情報化の進展により、人工知能（AI）技術が法的関係にまで広く浸透しつつある。こうした状況の下で、人間の社会的営みのうち、AIによって代替すべきではないと考えられる判断領域について具体的に論じ、その理由を法的・倫理的観点から説明せよ。

(100点)

【出題の意図】

AI技術の進展と社会の受容は、意思決定や価値判断など、社会活動のさまざまな場面に大きな影響を及ぼすと考えられている。AI社会に臨み、人間や社会とは何かという根源的な知識や理解、今後の社会のあり方についての論理的な考察力、文章表現力などを問う。

【解答のポイント】

1. 人間の社会的な営みとは何かについて基礎的な知識を有し、説明していること。
2. AI技術が社会に与える影響と、AIによって代替すべきではないと考えられる判断領域について具体的に論じ、その理由を法的・倫理的観点から、論理的に考察し説明していること。

小論文（社会福祉学領域）

問 ICT（Information and Communication Technology：情報通信技術、以下 ICT）の進展は、社会の諸領域に変化をもたらしており、社会福祉分野も例外ではない。

ICT の導入によって、支援の方法や人間関係の築き方、情報の管理、支援環境の形成など多方面で影響が生じている。その一方で、その活用をめぐっては、新たな課題や議論すべき点も現れている。ICT が社会福祉領域にどのような意義や課題をもたらしているのか、あなた自身の関係する分野に照らして述べよ。

(100 点)

【出題の意図】

高齢者、障害者、ヤングケアラー、ひきこもり、不登校状態等、幅広い対象群への支援方策の再検討が求められている。その中核として、ICT 導入による機能的可能性や有用性が注目される一方、技術応用に伴う倫理的・制度的・社会的諸課題も顕在化している。

このような背景のもと、ICT と社会福祉領域との関連について多面的分析を行い、当事者意識を反映した論述を志向することが求められる。知識のみならず、ICT を取り巻く実践、制度設計、人的関係性、価値体系等、多角的観点から自身の考えを論理的に記述する能力、文章表現力、知識の応用など総合的な考察力を問うものである。

【解答のポイント】

1. ICT 活用が社会福祉領域にもたらす意義や可能性について述べられていること。
2. ICT 活用が社会福祉領域にもたらす諸課題について述べられていること。